



ハートフルなんぶ

2022. 10月号 vol. 287

長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

第24回南部図書館まつり

10月22日(土)・23日(日)の2日間、
南部図書館まつりの開催します。

詳細は図書館まつりのチラシをご覧ください

※感染状況によりイベント内容の変更または中止となる
場合もございますので、ご了承下さい。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策に取り組中です。
ご協力をお願いいたします。

図書館まつり講演会

「夢をかたちに」 荻原健司長野市長

参加無料 **親子限定先着50組程度** **完全予約制**

日時…10月23日(日) 14:00~15:00

場所…南部図書館 2F大会議室

申込方法…10月8日(土)10:00~ 受付開始

南部図書館カウンターまたは

お電話でお問合せください

図書館まつり イベント日程表

| 22日(土) | 23日(日) |
|---|--|
| 10:00~16:00 リサイクル本広場 地域スポーツ団体のグッズ等展示 手作り絵本の展示 押し花作品展示 図書館クイズ 近隣小学校児童による読書感想画展示 図書館職員おすすめ本の展示 工作 本の福袋(～18:00) | 10:00~16:00 リサイクル本広場 地域スポーツ団体のグッズ等展示 手作り絵本の展示 図書館クイズ 近隣小学校児童による読書感想画展示 図書館職員おすすめ本の展示 工作 本の福袋(無くなり次第終了) |
| 10:30~11:00 おはなし会(どんぐりころころさん) | 10:00~15:00 ボードゲーム体験(SUBBOXさん) |
| 13:30~15:30 accototoさんワークショップ ～終了～ | 10:00~15:00 四コマ(絵本・まんが)物語編集部 (tentNaganoさん) |
| | 14:00~15:00 荻原健司市長講演会(完全予約制) ～終了～ |

今月の新刊案内

- 『はぐれ鴉』 赤神 諒/著 集英社 <<Fア>>
- 『禁猟区』 石田 衣良/著 集英社 <<Fイ>>
- 『任侠楽団』 今野 敏/著 中央公論新社 <<Fコ>>
- 『掬えば手には』 瀬尾 まいこ/著 講談社 <<Fセ>>
- 『華麗な復讐株式会社』 ヨナス・ヨナソン/著 西村書店 <<949ヨ>>
- 『私と街たち<ほぼ自伝>』 吉本 ばなな/著 河出書房新社 <<914.6ヨ>>
- 『ときめきのミュージアムグッズ』 大澤 夏美/著 玄光社 <<069オ>>
- 『日本の絶滅危惧知識』 吉川 さやか/文 ベストセラーズ <<382ヨ>>
- 『あした出会えるきのこ100』 新井 文彦/著 山と溪谷社 <<474ア>>
- 『カラダが10歳若返る鎌田式ずぼらストレッチ』 鎌田 實/著 宝島社 <<498カ>>
- 『こんなにおいしい!レンチンレシピ』 上島 亜紀/著 成美堂出版 <<596カ>>
- 『基本の編み方で作るはじめての紙バンド』 村上 秀美/著 日本ヴォーグ社 <<754ム>>
- 『世界最高の雑談力』 岡本 純子/著 東洋経済新報社 <<809オ>>
- 『13歳からの3000円投資生活』 横山 光昭/著 アスコム <<Y338ヨ>>



10月のテーマ「芸術」

- 『名画のネコはなんでも知っている』井出 洋一郎／著 エクスナレッジ <<723イ>>
 『かわいい印象派』高橋 明也／監修・著 東京美術 <<723カ>>
 『くらべて楽しむ西洋絵画』岡部 昌幸／監修 成美堂出版 <<723ク>>
 『ゴッホ旅とレシピ』林 綾野／著 講談社 <<723コ>>
 『名画のすごさが見える西洋絵画の鑑賞事典』佐藤 晃子／著 永岡書店 <<723サ>>
 『くよくよしないカ』フジコ・ヘミング／著 秀和システム <<762へ>>
 『さよならドビュッシー』中山 七里／著 宝島社 <<Fナ>>
 『フェルメールの憂鬱』望月 諒子／著 光文社 <<Fモ>>
 『めくるめく信州仏像巡礼』武笠 朗／監修 信濃毎日新聞社 <<N718メ>>
 『ちひろと歩く信州』安曇野ちひろ美術館／編 新日本出版社 <<N720イ>>
 『「無言館」の坂道』窪島 誠一郎／著 平凡社 <<N720ク>>



Essay

『芸術作品』

9月2日付信濃毎日新聞に「ゴッホの隠れた油絵 再現 静物画の下 レスラーの姿」と研究者らによって人工知能（AI）や3Dプリンターを駆使して色鮮やかに再現された二人の男性レスラーが組み合う場面の絵が掲載されていた。

子供の頃より脳裏に強く刻まれた絵がある。その絵は座敷の長押なげしの上に飾ってあった。「この絵はな、お百姓さんが一日の畑仕事を終え神様にありがとうとお礼を言っている絵だ」と父から幾度となく聞かされた。小学生になって、畑仕事をしている夕方、教会の鐘の音に帽子を取ってお祈りしている絵で、ミレーの「晩鐘」(※)は「夕べの祈り」だと知った。ある日、「ちょっと来て見ろや」と座敷で呼ぶ父の声がした。座敷の長押の上に真新しい横長の扁額が飾られた。日本画で松の枝に鷹が止まっている絵だというのが画面全体が真っ白で、いまいち全体像がつかめないが、鷹のするどい眼孔、くちばしと爪に心がざわついた。すかさず父は「この絵は、時が経つと共に白い鷹が飛び出て来る」と絵の解説を始めた。あれから何年たっただろうか。父が言っていた通りに、画面から今にも飛びたんとする真っ白な鷹が姿を現わした。白い絵の具の塗られていなかった余白の部分が時を経てセピア色に変色したために、白く塗られた鷹の姿が浮き上がったのだった。

「芸術は長く人生は短し」（古代ギリシャの医師ヒポクラテスが芸術について言った語）人の命は短くはかないものであるが、すぐれた芸術作品は永遠の生命を保っている。（広辞苑第三版より）

寄稿：チュルル

※『ミレーの「晩鐘」』レプリカ

参考文献 信濃毎日新聞 2022年9月2日朝刊

『ミレーとコロー』 ミレー／[画] 博雅堂出版

『広辞苑 第三版』 新村 出／編 岩波書店



南部図書館

開館カレンダー

開館時間：午前10時～午後6時

■は休館日です

2022年10月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 | | | | | |

2022年11月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | | | |